



## “太陽みたいに…”

校長 木戸 恒徳

雲が空をおおっていたり、陽の光がさえぎられた日陰にたたずんでいたるときに、太陽の暖かさが、明るさが、恋しくなる…そんな季節が、日に日に深まっています。

太陽が、私たちに与えてくれる『暖かさ』や『明るさ』を慕い、「太陽みたいな人になりたい…」と、自らの生き方に目を向ける人がいます。“太陽みたいに…”と太陽に憧れ、

- ・“太陽みたいに…”、周りの人たちに “温かく” 接せられる、心優しい人になりたい
- ・“太陽みたいに…”、“明るく” 前向きに、笑顔で生きていける人になりたい

などと考え、生きている人がいます。あるいは、同じ“太陽”を見て、「太陽は、私たちに、何らの見返りも求めたりしません。ただ、自らの能力を生かし、私たちに、自らの『暖かさ』と『明るさ』を惜しみなく与え続けてくれています。それは、心の正しい人にも、行いの悪しき人にも、懸命に生きる動物にも、もの言わず精一杯育つ植物にも、大地にある岩石土塊の類にも、分け隔てなく、平等に…」と、別の視点を持つ人もいます。

このような“視点”をもとにして、ある人は、

- ・“太陽みたいに…”、見返りを求めない人になりたい

と考え、生き方の指針にしています。「せっかくやってあげたのに、お礼の一つも言わない。これっておかしくない？ やってあげた人に、やってもらった人が、お礼を言うのって人として当然のことだよ」と考えて、見返りを求める人にはなりたくありません。私は、“やりたいから”、“やってあげたいから”、“やる”のです。「お礼を言ってもらいたいから」、「ご褒美がほしいから」ではないのです。そう“考える”人もいます。また、ある人は、

- ・“太陽みたいに…”、誰に対しても差別せずに接せられる人になりたい

と考え、生き方の基盤に据えています。「“性的マイノリティ”には、意見を言う資格はない」とか、「“肌の色”が違う者は、言われるとおりにやってればいい」とか、そんな風なもの言い方をする人に、「是です」と応じたくはありません。人が人を差別している理由になるものなんて、何一つありはしないのです。太陽が、すべての人に、等しくその恵みを与えてくれているように、私は、等しく人に接したい。そう“考える”人もいます。

同じ“もの”を見ても、考え方や捉え方は、人によって違っています。それは、人それぞれに、何を、どんなことを大切にすることが違っているから…。 “成文っ子” たちには、成文小学校で過ごす間に、自分は、何を、どんなことを大切にしたい人なのか…と、自分をしっかりと見つめ、大きく成長して欲しいと心から願います。お子様の豊かな成長を願い、日々、慈しみを育てておられる保護者の皆様の想いに少しでもお応えできるように、なお一層に学校の教育活動の充実に努めてまいります。これからもよろしくお願いたします。



# 11月の予定

日	曜日	主な行事
1	日	
2	月	避難訓練
3	火	文化の日 自然学校(5年:丹波)
4	水	5年のみ代休日
5	木	避難訓練予備日 チャレンジタイム 諸費引落
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	委員会活動(写真) 情報モラル教育出前授業(5・6年)
12	木	代表委員会 チャレンジタイム
13	金	
14	土	
15	日	

日	曜日	主な行事
16	月	環境体験学習(3年) 諸費引落
17	火	
18	水	
19	木	チャレンジタイム
20	金	13:30下校(『職員研修』のため)
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	クラブ活動
26	木	チャレンジタイム
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	朝会

### 【12月の主な行事予定】

- 9日(水) あまっ子ステップアップ調査
- 10日(木) マラソン大会
- 11日(金) マラソン大会予備日
- 22日(火) 給食終了 集団下校
- 25日(金) 終業式 大掃除



### 【協力に感謝】

『赤い羽根共同募金について』  
赤い羽根共同募金にたくさんのご協力をいただき感謝いたします。みんなで支え合って豊かな社会や生活を育む…そんな想いが成文っ子たちの『心』に広がることを願って取り組んでいます。  
今年度は、6,684円の募金が集まりました。ありがとうございました。





## 【11月20日（金）は、給食・清掃の後に下校します】

『学年便り』でも連絡させていただいています。今月20日（金）は、給食・清掃の後に、下校します。

この学校通信『成文』11月号の巻頭言の終わり2行で、『なお一層に学校の教育活動の充実に向けてまいります』と記させていただきました。その具体的内容の一つが、『児童1人に1台のPCを配布する』です。尼崎市では、『市内すべての小・中学校の児童・生徒に1人1台のPC配布』を、年明けの1月から実施していきます。この取組は、国〔文部科学省〕が進める『GIGAスクール構想《Global & Innovation Gateway for All》』を踏まえた『尼崎版GIGAスクール（AGS）』の実現に向けたものです。

“『ICT機器・インフラの整備』を図りながら、学習指導要領が求める『主体的・対話的で深い学び』の深化を推進する”これからの取組に対応していける能力・技術を身につけることが、今、学校の教員に求められています。このような状況を受け、『1人が1台のPCを手元に持ちながらの授業』とは、どのような授業なのか？ どのような可能性を持っているのか？ どのような資質・能力の養成が求められるのか？ などと言ったことを学ぶために、兵庫教育大学から永田智子教授を講師として本校にお招きし、全教員が参加する『職員研修』を企画することにいたしました。講師の先生との日程調整を踏まえて、11月20日（金）の午後にその『研修』を設定せざるを得ず、学校において最も大切な時間と位置づけております授業ではありますが、『午後の授業カット』で運営させていただくことにいたしました。この旨へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

11月20日（金）は、午前中の授業の後、給食をとり、清掃し、その後に下校します。校時表どおりに運営しますので、**13:30（午後1時30分）頃**に下校します。

『1人が1台のPCを手元に持ちながら授業を受ける』ことは、これからの時代における学校の『スタンダード』であり、特別なことではなくなります。しかしながら、教員自身が受けてきた学校教育でも、これまで実践してきた学校教育でも、その『環境』はありませんでした。だからこそ、教員は、これからの『環境』を効果的に運営できる能力・技術を身につけなければなりません。そして、より豊かな授業に改善していく能力・技術を身につけなければなりません。成文小学校が実施しますこの度の『研修』は、そのための『一歩』とご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 『児童ホーム』をご利用の保護者様へ

11月20日（金）、『児童ホーム』を利用している子どもたちは、13時30分〔下校〕後、そのまま『児童ホーム』で受け入れていただきます。学校と『児童ホーム』が連携・協議して、『児童ホーム』に受け入れ体制を整えていただくようお願いいたします。放課後の時間が少し早い時間から始まりますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 【5年『キャリア教育出前授業』】



10月22日（木）、福祉落語家の壽 文寿（ことぶき もんじゅ）さんが、5年生の『キャリア教育』の授業のために来校してくださいました。壽 文寿さんは、兵庫県公認の福祉落語家として、落語や講演に全国をまわっておられます。吃音（きつおん）を克服するために落語家を志した話を聞いて、5年生からは、「自分の苦手なことも力にかえていることを見習いたい」等の感想がありました。5年生は、この授業から多くのことを学び、自分の生き方を考える一助にもなったようです。



## 【児童理科研究発表会】

10月14日（水）、尼崎市教育・福祉センターの4階：視聴覚室で行われた『第59回児童理科研究発表会』に、4年生の宮崎 穂乃香さんが、成文小学校を代表して参加してくれました。今年、『新型コロナウイルス』の影響で、いつもよりも短い夏休みでしたが、宮崎さんは、『なすびの色がわり』に関心をもって、実験し、研究をまとめてくれました。市内の小学校から29名の児童が集まる大きな大会でしたが、宮崎さんは、「なぜこのテーマを選んだのか」や、「研究の細かな手順」、「実験の結果と、そこからわかったこと・考察したこと」を、とっても落ち着いてしっかりと発表していました。緊張していたと思いますが、堂々とした姿は、素晴らしかったです。いろいろな点において、本当に、よく頑張りました。



## 【交通安全教室】



10月6日（火）、1・2年生は『歩行訓練』、3・4年生は『自転車教室』を行いました。横断歩道の渡り方や、『道の角では必ず止まって左右を確認すること』などを実践を通して学びました。普段何気なく行っていることですが、少しの気の緩みが思わぬ事故につながってしまいます。子どもたちが、毎日、交通安全に気をつけて過ごすことができますように、ご家庭でも、注意を促していただきますようお願いいたします。



## 【読書週間】

10月26日（月）から30日（金）まで『読書週間』でした。図書室の入り口には大きな木が掲示してあり、その木の葉に、子どもたちは読んだ本のタイトルを書いて貼っていききました。これを見て、「〇〇さんが読んだ本、読んでみたい」と話している会話が耳に入りました。子どもたちの読書の世界は着実に広がっています。



### ◎『おはなし会』

今年度も“物語”を語る『すずらんの会』の皆さんにお越しいただきました。いろいろなお話を、豊かな声と表情をまじえ語ってくださり、子どもたちはお話の世界に引き込まれていました。『おはなし会』で読まれた本は次のとおりです。（☆は図書室にもありますよ）

『ひな鳥とねこ』	『ぼんぼんはなんのおと』☆
『おいしいおかゆ』☆	『石の裁判』
『ふしぎなたいこ』☆	『ヤクーバとライオン』
『きつねのよめいり』	『ジャックの運だめし』
『一枚の銀貨』	『めがねどろぼう』☆



